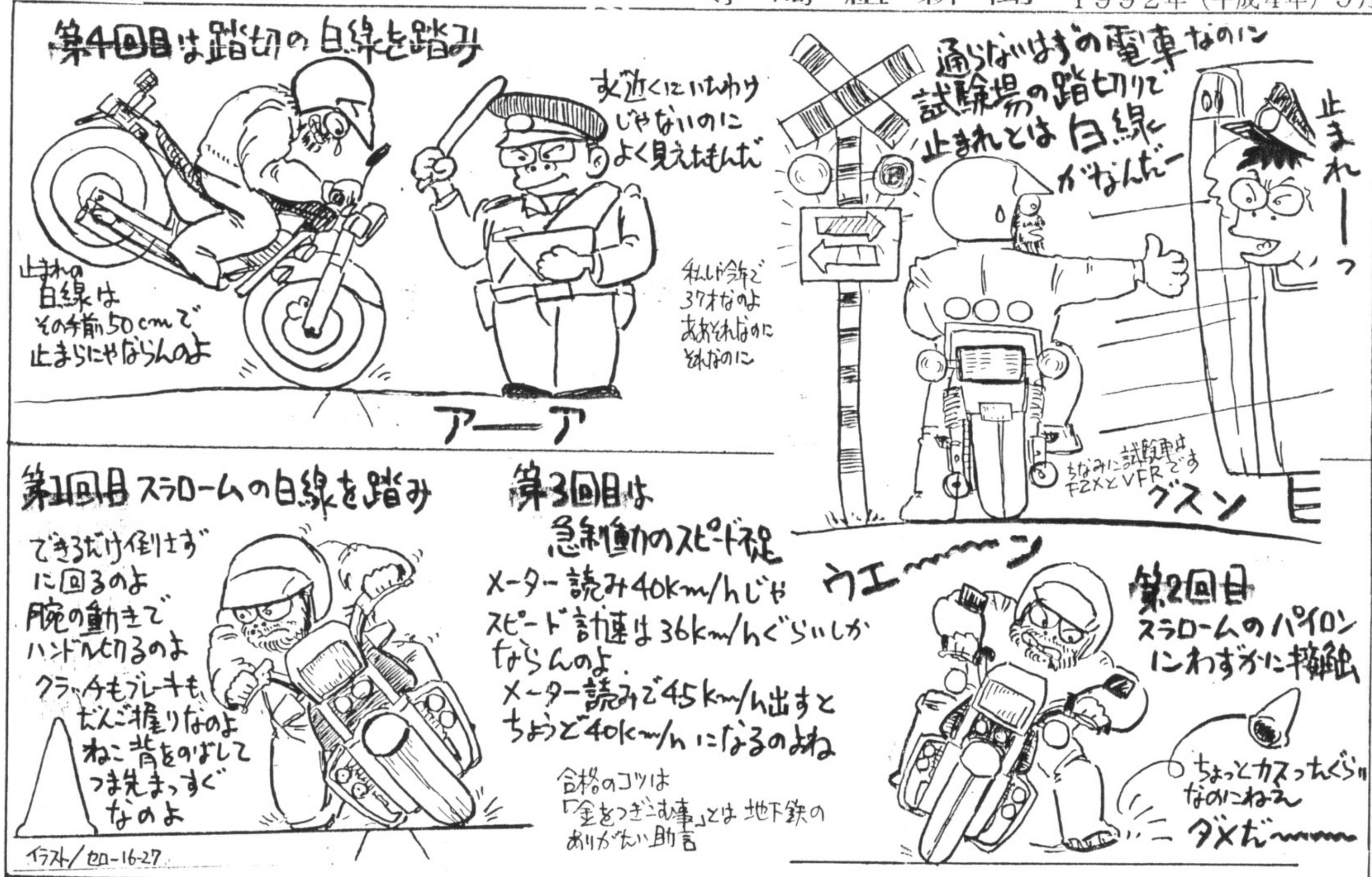
第四号　寺崎組新聞　1992年（平成4年）9月吉日（日曜日）　（隔月刊）

寺崎組新聞

発行所　寺崎組新聞社

組長格闘す

限定解除挑戦　只今四連敗中！


第4回目は踏切の白線を踏み
止まれの白線はその手前50cmで止まらにゃならんのよ
す近くにいたわけじゃないのによく見えたもんだ
私しゃ今年で37才なのよ ああそれなのに それなのに
アーア
通らないはずの電車なのに試験場の踏切りで止まれとは白線がなんだー
止まれーっ
ちなみに試験車はFZXとVFRです
グスン
第1回目スラロームの白線を踏み
できるだけ倒さずに回るのよ
腕の動きでハンドル切るのよ
クラッチもブレーキもだんご握りなのよ
ねこ背をのばしてつま先まっすぐなのよ
第3回目は急制動のスピード不足
メーター読み40km/hじゃスピード計速は36km/hぐらいしかならんのよ
メーター読みで45km/h出すとちょうど40km/hになるのよね
合格のコツは「金をつぎ込む事」とは地下鉄のありがたい助言
ウエ〜〜ン
第2回目スラロームのパイロンにわずかに接触
ちょっとカスったぐらいなのにねえ
ダメだ〜〜

イラスト／セロ−16-27

九月十一日、寺崎組新聞の締切日である。この日編集部では、新聞九月号のトップ記事の見出しを二つ用意していた。一つは「やったぜ組長！！四度目にして栄冠をつかむ」そして。もうひとつは……。

そう、今回の新聞の見出しである。普通免許取得で気を良くした組長は、ついでとばかりに限定解除に挑戦したものの、本日で四回目の挑戦に敗れ、失意の中でボクシングで鬼塚が勝ち、ホンダのF1撤退のニュースを聴きつつ眠りについたのであった。

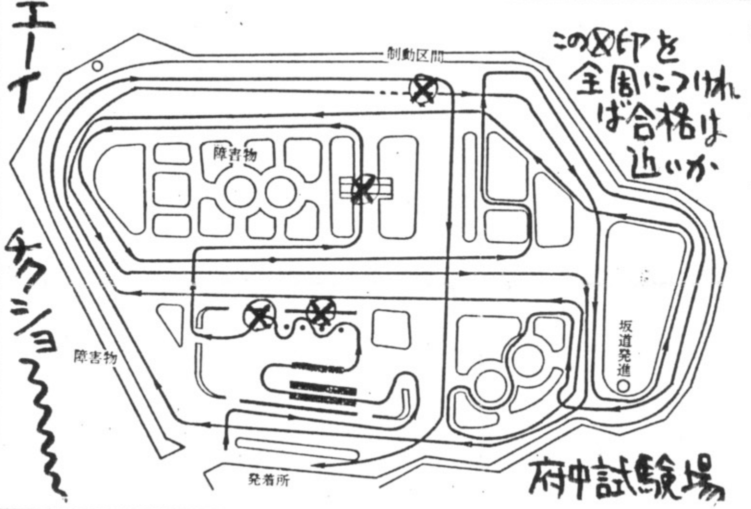
組長談（寝言かもしんない）、

「何が、踏切の白線を踏んじまっただとぉ、フンだ、このくそ生意気な若造がぁ。温情のカケラもネェ奴だ！！エ〜イ一生かかっても盗ってやるぞ。何て試験官には言えねえもんだぞ、オイッ、コラッ、聞いてるかテメ〜ラ！エーンエーン、グースカピー。スー、スー……」編集部「シーン……」

という事で、

限定解除合格
必勝ポイント募集！！

限定解除をした組員、又は挑戦中の組員から、「こうすれば限定解除は受かる」「このポイントさえ押えれば限定解除は楽勝さ」等の具体的な助言を募集、未だ完走ゼロの組長を助けると思ってどしどし応募してネ！！見事組長が合格した暁には何かでるかもしんない！！フーン！！


エーイ
チクショ〜
この⊗印を全周につければ合格は近いか
制動区間
障害物
障害物
坂道発進
発着所
府中試験場

龍神の森に組会の灯ともる

第二十七回寺崎組々会記念特別競争は、天候にも恵まれ龍神南谷城ヶ森林道に於いて華々しくも開催となった。先ずは気象状況から報告します。護摩さんタワーの風、風力10・小雨のち曇り・一〇八〇ミリバール、野宿日和。さて、各地転戦の野宿者達は、龍神へ龍神へ馳せ参じたのであります高野山周辺の特定の商店の皆様に、まずはお詫びと御礼を述べて、始まり始まり〜。

一号艇は組長追っかけの旅をし、和歌山まで一気走りの毎日須藤DT品川ナンバー。二号艇はひたすら隠し続けの新車バハ二世にて参戦の歴戦の強者・歌う地下鉄前原・足立、テンプラはやはりうまかったぜ。三号艇は終始ブレーキのかかり通しの「今回は抑える」と歌も出なかったBMW持田島根。本当にどうしたの持田さん？四号艇は結婚もしたし子供もできたし、ついでにヤクザ亭主になって早々の野宿にも来たしのXLRバハにて参戦の現場カントク浜島名古屋。五号艇はこれまた組長に「切れてる」と言わしめたテネレ使いの、今回三段階酩酊法をカメラに収められてしまった、酔っぱらい工場長・橋本群馬。六号艇はうなぎ石原に依って野宿の道へ引きずり込まれてしまって、今回一人にての参戦はよくぞ来てくれましたXLR小田三河。七号艇は笑顔も美しく、穏やかな人格を思わせて、それでも系列のホテルマンへと出向の苦労も何のその、セロー初期型にて参戦の今は現場カントク・笠井香川。八号艇はどこかで拾ったか「西郷どん」の旗振り回して参戦の充電器付のセロー山之内鹿児島。後に笠井香川とのカッ飛びは何拠へ行ったのか？九号艇は米倉三兄弟に堂々？の君臨するのかどうかはいざ知らず、二男のバハに「2ケツ」「2ザック」の初参戦「俺は長男だ！」の米倉満京都。十号艇は三兄弟にあっては組会最長老の漫才というか関西のノリというか「全く何て奴らだ」の米倉剛司XLRバハ京都。十一号艇はもう書きたくねぇ！の米倉三兄弟末弟の「兄弟愛は美しい」と思わされたDRディーゼル・デコンプ付の米倉努なにわ。十二号艇は初参加の久し振りの新人、体型と性格の良さは比例するのだ！の「きりたんぽ」旨かったぜのSX－25津島大阪市住之江区。『ちなみにメッカ住之江のモンスターは野中和夫…』十三号艇は点数がないから点無のではなく、点がないから点無のよくぞ長キョリを走りきったぜ！組会VTRオフィシャルの原田セロー横浜。十四号艇は、強さでは庄司エム店と双璧を誇るのではないのか「年を取った分だけ走れる」柔道が得意技の市川分母川瀬中尉DT習志野。さて最後は十五号艇、体重のなせる技か足が長いのかCRMを地べたまで押付けて「父さんはどこへ行ったのか」待たせ続けて深夜に参戦の秋山カバさん息子三重。

さて揃いましたる15名の歴戦の強者たちに美しいアウトドアの形容などあてはまるわけもなく、関西地区選手権の様相を呈した第27回組会は関西ことばの飛び交う中で進んだのであります。組長が知床旅情を口火にさあ歌うかの展開は、歌う地下鉄がテンプラに忙しく、ブレーキのかかった持田に至っては何を抑えたのか「あれ、誰も歌わねえじゃん」。替わってステージを盛り上げたのは、川俣組会の分子諏訪野の如く突然に浮上の京都米倉三兄弟プラス1であった。世代の交替は世の常か？んな事たぁねぇの「何て奴らだ」と驚嘆の夜は更けるのです。うなぎ友人・小田はもっと話してほしかったの次回期待の逸材であります。香川カントクも、鹿児島おいどんも、子供もできたのにもう投げ出して？の「夫婦仲は大切に」と心配の尽きない野宿者よ、いつの日かどこかの林道で会えるだろう。秋山カバさん息子よ、お父さんとけんかをしたのではないか。「親父は短気だから」の裏に野宿親子の愛を見たぜ！今回は参加出来なくて翌朝参戦の伊勢兄弟デリカ三重と、西川夫・嫁の二人にも次回の参戦を待ちます。なにわDRを忘れじ。各氏に新聞代の協力を仰ぎ感謝致します。次回11／1道東ナウマン国道で会おう！

再見（毎日ストウ）

点無、引越す！さて場所は？

去る7月5日、横浜市緑区荏田町に住む点無原田（本名：原田浩光21歳）の昼逃げ（引越し）が小雨がぱらつく中、しめやかに行われた。当日は、昼逃げ実行委員会として、でいく氏、地下鉄氏、堀沢氏が駆け付け、でいく氏がR246をぶっ飛ばしてきた軽トラックに荷物を積込んだ。その際、でいく氏が荷物を紐で縛り上げている時に木製の本棚の上にもろにめりこませ本棚は全治不能、しかし使用者のいい加減さで尚も酷使させられている。午後1時に始まった昼逃げは3時ごろには現地に到着、40分程で荷物搬入も終了し、点無原田は東京都国分寺市東元町3の29の7第一永楽荘104号室の住人となった。チャンチャン！

何でもカづくんだからなあ

壊れた本棚を平然と指さしながら「俺じゃねぇ」とばっくれているでいく氏

「……文句あっか？」

ストーブ・インプレッション

私が幼少の頃から愛用しているヤツを紹介します。まず、火力がなかなか安定しなくてススがよく出ます。暖める物を動かして火力を調整します。火力が強くなるとはっきりいって近づく事が困難です。しかし、濡れた物でもすぐに乾き、一度にたくさんの物が暖められます。重大な欠点としては、燃料の持ち運びが非常に不便で、現地調達がほとんどという点です。燃料はちなみに、紙・枯れ木・その他燃えるゴミなどです。そう、私のストーブは、焚火です。燃費や購入費は安いし（当然か…）、妙に興奮するし、いいと思います。あ、今気付いたけど点火しにくい、ジェネレーター（私のコト）のアルコール燃料の消費量が高いという欠点もありますね。片付けもチト大変。でも愛してますね。

ちなみに、ピークワンマルチフューエルも使っています。（うなぎ）

野宿塾体験記

組番号一六九　市川分母　川瀬博

第二十七回城ヶ森林道組会に参加した私は、宴会中須藤さんより組会の後引き続き野宿塾があると聞き、色々と迷う事がありました。

1．一日で和歌山から帰るのは辛い
2．残金少なく塾費を払うと帰れない
3．はたして付いて行けるか不安
4．龍神温泉でひとっ風呂浴びたい
5．名古屋で煮込みうどんを喰いたい

次の日、参加費用はレポートと一緒で良いと言う事で参加に決めました。

他の組員達を見送りさて出発という時になって、ちょっとしたトラブルが起きました。寺さんのXLRのエンジンがかからない。「キリキリ、ガシュン、バルル、、、プスー」無情にもアイドリングがつづかない。数分のキックの嵐の後、寺さん諦めと共に一言「これはキャブレターだな、、、」塾生一同はやや遠慮しつつ（実は色いろと勝手な事ばかり言う）見守る。

寺さん我われの熱い注目を受けつつ、すらすらとキャブをばらし組立る。無事エンジンがかかり一同ほっとする。私は寺さんの手際を見守りつつ、自分のDTなら、あんなに早く治せたかと思いつつ自分のトラブルでなくてよかった（寺さん、すみません）と、思った。私も使い易い工具を用意しようと思う。

露の雲間を夏の陽射が貫き、山やまの緑が目に飛び込む。薫風かおる林道を山に、へばりつく様に走る猪笹林道（川沿いの断崖ダート）に入り寺さんのレッスンとなる。最近ほとんど流してしか走らない私にとっては、久々の真剣な走りで緊張する。

まず寺さんの後についてスパスパと走る。寺さんタパパパパン私パランパラララン と、だんだん熱くなりつつ走っていた。こうゆうのも良いものである。とても気持ち良かった。また多いに勉強になった。

寺さんの走りは安全で、しかし加減速のメリハリがしっかりしていてなにげなく速い。後について走りながら流石プロの走りだと感心する。

後で寺さんから「地下鉄と市川分母は年の功だけあって…。」と気になる形容詞付きではあるが、及第点を貰い非常に嬉しい。もちろん二つ三つの悪癖の指摘も合わせてありました。

途中、酒・食料等を仕入れつつ蜩の鳴く中、野宿地に向かう。林道の途中の川原に鎖を避けつつ下に降りる。

ここは林道から見えない広い所で、車は降りれない。湧水が小さな滝となっており焚火の素がたくさんある等、野宿地として最高の場所でした。流石寺さんである。

夕暮れの川原で、めいめいが野宿の準備をいそいそとやり。小一時間程で、私達は紀州の夜を柔らかく照らす焚火の回りでビールを飲んでいた。寺さんは、寺さんギャグを時々放ち。地下鉄前原氏は、ぼそっとそれにツッコミを入れる。須藤さんはひたすらに楽しげであった。私は料理など作りつつ、ビールをガンガン飲んだ。点無し原田氏はやや疲れた様で、チビチビとやっていた。

焚火宴会の記憶は途中から定かではないが、とても楽しかった。まあメンツが寺さんを始めとして、寺崎組の良心？の様な組合わせであったこともあったが。ただ一日が終わって思ったのは、寺崎組の本当の良い所は野宿塾にあるのでは、と思った。

最後に今回の紀州は、組会と塾で二度美味しい旅でした。

寺さんどうもありがとうございました。須藤さん、前原さん、原田さん色々お世話になりました。

前にも書きましたが、野宿塾は絶対いいと思います。組員の方々ぜひ参加しましょう。私はまた参加したいと思います。

（私が川瀬です。キャップです）

「沢海さんを痩せさせる会」に入会希望者現る！

去る9月13日、68号うなぎ石原氏が「沢海さんを痩せさせる会」に入会を希望していることの事が判明。同氏は会の改名を願い出ており、その名も『沢海さんと一緒に痩せる会』だそうである。尚、改名と同時に会員も募集しており、何名か候補が上がっている模様。

種子島から今話題のトカレフまで、鉄砲の御用命は「ハートフォード」まで

組員は3割増4割増あれまぁ 68号うなぎ

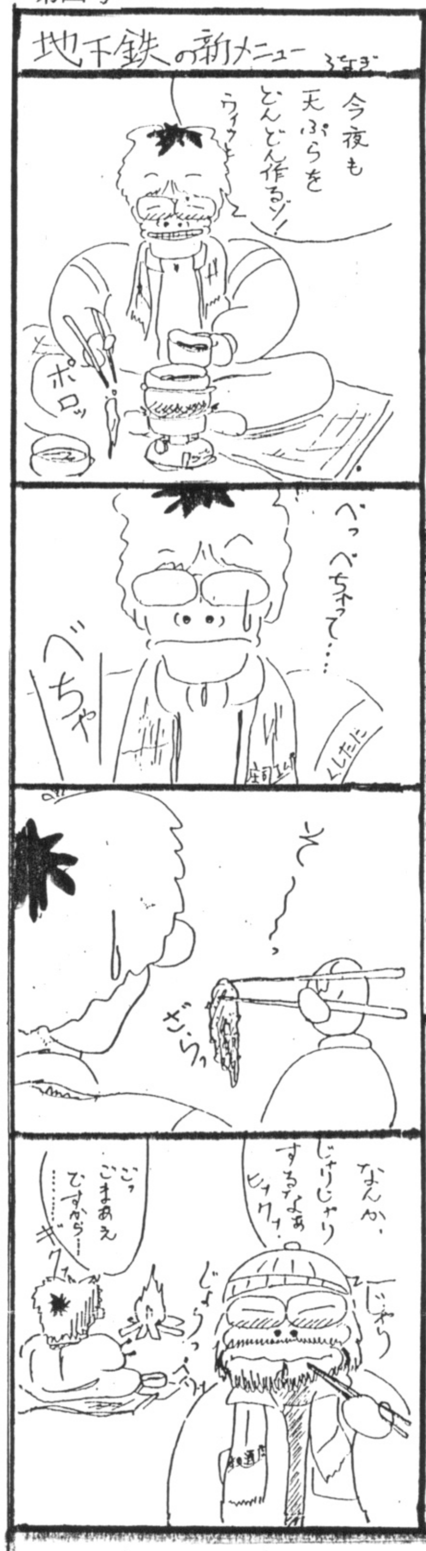
北海道 〜春夏秋冬〜 秋の章

最近吹く風も涼しくなり、すすきの穂なんかも顔を出し始め、周囲はすっかり秋の雰囲気です。なんて事を書いたら、関東以南に住んで居る人達に怒られそうですが、まだまだ内地のほうでは残暑が厳しいでしょうねえ。こっちはもうお盆を過ぎたら夏も終りだと言います。今年は天気の悪い日や肌寒い日が多く、どちらかと言えば冷夏でした。私の住んで居る千歳辺りはそれほどではないですが、道東や道北では真夏でも朝晩はストーブを焚くときがあります。又、あれほどたくさんいたライダー達もすっかり姿を消し、残っているのは筋金入りのプー太郎か、暇な学生、もしくは混む夏をはずしてやってくる賢いライダーのみ。私も北海道が本来の静けさを取り戻すこの季節が好きです。

さて、秋と言えば紅葉、紅葉と言えば温泉と言った具合に、私の貧困なイメージで無理やりこじつけてしまう訳ですが、温泉と言えばやはり誰が何と言おうと私は露天風呂が好きです。それも温泉宿にわざとらしく作ったものじゃなく、辺りに何もない山の中や川っぷちなどにいきなり湧いている奴です。最近は本当に何もない所はほとんど無くなりましたが、雰囲気を壊さないよう必要最小限の設備のみのところはまだまだあります。場所については北海道のツーリングガイドを見ればほとんど網羅されていると言っても過言ではないので今回は省きます。これらの露天風呂は内地の温泉と比べて圧倒的に無料のところが多く、それらはたいがい土地の人達の好意で管理開放されているのがほとんどです。ところが最近これを利用する人達のマナーの悪さが目につくようなりました。まずごみ、ビールの空缶とプルトップ、ワンカップの空瓶、そして極めつけはなんと、うOことそれを拭いたであろう紙。こいつにはぶったまげてしまいました。あと個人的な意見かもしれませんが、あの水着を来て風呂に入る人達はなんとかならないものですかね？。まあいろいろと書きましたが、全部が全部こんな具合と言うわけではありません。しかし一部こういう事もあると言うことです。願わくば今のまま気軽にだれでも使える温泉であってほしいものです。

さて、話は変わりますが十一月に組会が北海道で行われますが、はっきり言ってかなり寒いでしょう。峠は雪が積もっていることを覚悟した方が良いかもしれません。ですから内地から来られる方は、釧路に上陸することをお勧めします。そんな訳で暇な人は、北海道でお会いしましょう。

北海道支部長　自衛隊北脇

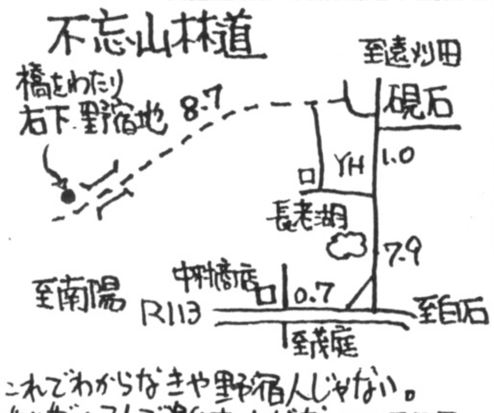

地下鉄の新メニュー
うなぎ
今夜も天ぷらをどんどん作るゾ！
ポロッ
べっぺちゃって…
べちゃ
そ〜っ
ざらっ
なんか、じゃりじゃりするなあ
じゃりっ
じゃらっ
ご、ごまあえですから…
ギクッ

寺崎組新聞社社屋完成

お待たせしました！

7月5日、小雨がぱらつく中（ん、どっかで聞いたような…）スタジオEGG脇にて寺崎組新聞社社屋完成式が行われた。式典には、編集長でいく氏、地下鉄前原氏、堀沢氏、点無原田氏が出席、新聞社しゃちょ〜組長は都合により欠席となった。て〜ぷかっとの後にビールにて乾杯、今後の新聞社の運営について早くも議論がとびかっていた。（ビール缶がとびかっていたという噂もチラホラ…）それにより、社屋を利用するに対して、次のようなことが決められ、即日施行となった。

1、寝泊りする際は寝袋持参のこと。
　テント可…一張りのみ。ペグ不可
2、ビール、酒等持参のこと。
　自炊可、直火不可。水、ガス、冷蔵・冷凍設備、弁当等暖め用機器完備、もちろんトイレ付。
3、冷暖房完備！
　夏は南国の気分が味わえ、気分はもうトロピカル！！
　冬は天然のクーラーが利いて、居ながらにして高原の爽やかさが…
4、完全相部屋制。
5、風呂なし（徒歩3分豪華絢爛大浴場有）
6、近辺の酒屋（天下の清水酒店！）
　収容人数…入れるだけ、旧館使用可。
　休館日…気紛れ。



これでわからなきゃ野宿人じゃない。
せいぜい2人で楽しむんだな フフフフフ
かわいそうだと思うんは集まるんだな。ハハハ

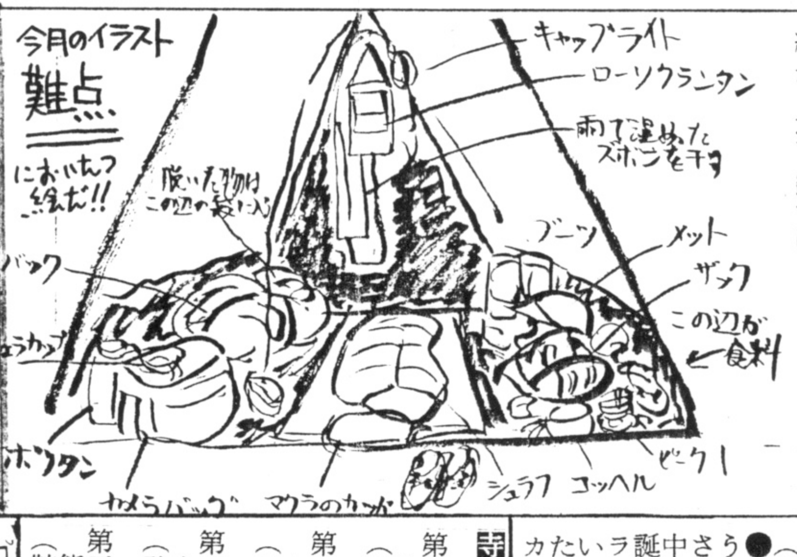
おたく拝見　地下鉄の巻

今号から無理矢理の新連載であるが記念すべき一回目は地下鉄である。地下鉄は組長の「野宿は生活だ」を忠実に守り実生活と野宿の境目が無い事は組員みんなに広く知られている。まずはテント。組長が日本一周で使用し、また組員中でも使用者の多いムーンライトⅢだ！これは某SRCで4割引きのたたき売りを買った物で色は黄色。売れ残りなので選択の余地は無かったそうだ。ムーンライトの黄色たいへん珍しく、そして売れないらしく最近は作ってないらしい。そう言えば黄色は組長と地下鉄だけ。このテントは雨に強く建てやすく良いテントなのだが冬がちょっと辛いのが欠点だ。次にテント内だが基本的に方付けると言う事を知らない地下鉄は何でもかんでもブン投げたままである。一見すると散らかっているように見えるが、良く見ても散らかっているのである。結局ゴミ状態である。しかしこれでも一定の法則がありどこに何があるか大体（この大体と言うのがみそ）わかると言うから驚きだ。現在はテントのジッパーが壊れているのでどうやって直すか考え中である。

「何を喰ってもゴキブリを喰ってるみたいだ」

若頭平松後日談

今月のイラスト　難点


におい たつ 絶だ!!
脱いだ物はこの辺の袋に入る
キャップライト
ローソクランタン
雨で濡れたズボンを干す
ブーツ
メット
ザック
この辺が食料
バック
シュラカバー
ポリタン
ピーク1
シュラフ
コッヘル
カメラバッグ
マクラのかわり

集合！寺崎組別会開催

何の予定も無い人、むやみに酒を飲みたい人、久し振りに組員に会いたい人、どうぞ宮城の風景を見に来て、いい思い出を作りましょう。皆様のお越しをお待ちしております。

PS：内容は組長がいないのと組費がかからない以外はいつもの組会と同じです。

■■主催　124号ドピンク三倉
■■陰の主催　73号でいく庄司
これで最低二人は集まるわけだ。
■日時　92年10月10日〜11日
　昼から昼まで
■問題の場所　宮城県南蔵王林道
　（不忘山林道）付近

これで分かるのだろうか。そこで東北ツーリングマップP50、P51、そして林道本一周P64．P65参照のこと。

○宮城側林道入口、硯石より9Kの橋を渡った右下。○山形側林道入口、古屋敷集落より1.4K地点です。

（編集後記）

●力で編集長になったでいく□今回はうなぎが餌食となった●いびきのうるさい本田庄司□合格トトカルチョ実施中●毎日から朝日須藤□祝桜井さくら誕生●国民に愛される税金□来たれイラスト部員●社屋管理人点無し□四角いマットのジャングル化だけは●痩せたいウナギ□足が痛いよう●はばるカバクン□これでいいのか見合いは

寺崎組今年度野宿宴会地

第二十八回　一九九二年十一月一日
北海道十勝郡浦幌町　豊北海岸
（原生花園のある砂浜）

第二十九回　一九九二年十二月十九日
山梨県塩山市　大菩薩峠
（旧峠の避難小屋前ー要登山）

第三十回　一九九三年二月二十七日
山梨県韮崎市　小武川林道
（砂利道になってすぐ滝のそば）

第三十一回　一九九三年三月二十日
熊本県菊池郡旭志村　鞍岳野営場
（鞍岳登山口の下にある）

「寺崎組新聞の定期購読のお知らせ」

この新聞は年六回の発刊を予定しております。以前もこの計画があり、購読料を頂いている人もいますが年間購読料として二千円以上です。お金を払いたいという人は何らかの方法（現金書留・郵便為替・普通封筒に入れてなど）で送っていただければ幸いです。この新聞を永続させるためにも原稿ともども新聞制作のお手伝いにも来ていただければなお幸いです。

「原稿大募集のお知らせ」

良い子も悪い子も寺崎組もその予備軍も自分らしさを原稿で写真でマンガで、自分だけの表現でしてみませんか。

送り先は左記
一八五
東京都国分寺市東元町三・二九・七
スタジオエッグ寺崎組